

# 子育て応援医療費18歳まで無料

2月定例議会で可決した、条例の制定や改正について主な内容をお知らせします。

**15歳から18歳に無料化拡充**  
10月より、子育て応援医療費助成の対象年齢を拡充することに伴い、出生から「15歳に達する日の属する年度の末日まで」の対象年齢を、更なる保護者の経済的負担の軽減と、子どもの適正な医療機会の確保のため「18歳に達する日の属する年度の末日まで」に拡充します。

## 15歳から18歳に無料化拡充



「健康第一」気軽に診察を

## 栗原市まちづくり基金条例創設

合併市町村振興基金として合併特例債を活用した基金創設を行うもので、財源は上限40億円を借入れます。元金償還が終了した額の範囲内で取崩しが可能となり、予算として使用できます。用途は、コミュニティ一括交付金や集会施設などの改修とします。

## 敬老行事に500円アップ

「敬老祝金等支給条例」の一部改正により、高齢化の進展などで、90歳以上99歳まで5000円、100歳を越えた方に2万円を支給していた祝金を廃止し、敬老祝金の支給を88歳（米寿）、99歳（白寿）、および100歳に集約します。敬老記念品の贈呈を廃止し、地域で主催する敬老行事の補助金を、一人あたり2000円から2500円に引き上げます。

文教民生常任委員会で否決となりましたが、本会議で可決しました。（関連記事11・12ページ）

## 病後児保育事業を実施

築館保育所内において病後児保育事業を実施するための改正に伴い、特別保育



元気に遊ぶ子どもたち



メインパークに移設される展示物

## 細倉鉱山資料館閉館

細倉メインパーク基本計画が策定され、細倉鉱山資料館の展示物などをすべて細倉メインパークに移設展示することから、平成28年3月31日をもって細倉鉱山資料館が閉館します。

事業に、病気の回復期にある市内に住所を有する生後6か月児から未就学児で、集団で保育することが困難であると認められ、かつ、家庭での保育が困難な児童を対象とする病後児保育事業が加わります。



市役所の駐車場、平成28年度に延期

# 補正 予算

平成27年度

## 福祉給付金3万円を支給

今回の一般会計補正では、年金生活者へ一人あたり3万円が支給される福祉給付事業費や市役所の南側駐車場を整備する工事の減額、汚染牧草を保管する牧草シート被覆事業の減額など、総額17億9400万円の減額予算を可決しました。

### ●人件費

(2030万円)

給与改定などにより増額します。

### ●庁舎等管理費

(7890万円)

市役所の南側駐車場整備工事などの減額をします。

### ●年金生活者等

支援臨時福祉給付金事業

(3億800万円)

国の補正予算に伴い年金生活者など約1万人を対象に、一人あたり3万円の臨時福祉給付事業をします。

### ●保管牧草等対策経費

(1億760万円)

放射能に汚染された牧草を保管する牧草シート被覆事業の減額をします。

### ●農業振興推進費

(7560万円)

農地中間管理機構への集積協力を増額します。

### ●スクールバス

運行管理経費

(7640万円)

スクールバス運行の委託料を減額します。

一億総活躍社会の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい高齢者の方を支援します。

## 確認じゃ！ 高齢者向け給付金。

- 給付金を受け取るためには、申請が必要です。
- 申請先は、昨年（平成27年）1月1日時点でお住まいの市町村です。
- 市町村ごとに申請受付期間が異なります。

**高齢者向け給付金**  
(年金生活者等支援臨時福祉給付金)

**1人につき3万円**

支給対象者  
平成27年度臨時福祉給付金の支給対象者のうち、平成28年度中に65歳以上になる方

給付金を知らせるパンフレット

## 契約の変更

三峰工業団地の造成工事が3月末に完成予定です。造成土工の数量変更に伴い、契約を変更しました。

### 【契約金額】

変更前の契約額 12億4588万5840円

変更後の契約額 12億2098万6440円

### 【契約の相手方】

佐々貞・宮城特定建設工事共同企業体（栗原市）

## 財産の取得

（仮称）北部学校給食センターの給食配送車 4台

金成の旧津久毛小学校の跡地に建設中の学校給食センターが8月に完成することから4台の配送車を購入します。

### 【取得金額】

2148万1888円

### 【財産取得の相手方】

いすゞ自動車東北（株）

宮城支社大崎支店

（大崎市）

## 財産の交換

築館三峰工業団地内の土地とエヌ・エス・トート（株）の敷地（築館）を等価交換しました。

### 【交換の相手方】

エヌ・エス・トート（株）

（栗原市）

## 人事

### 人

○教育委員会委員の任命に同意

千葉 みどりさん（志波姫） 新任

○人権擁護委員の推薦に同意

木村 尚さん（栗駒） 再任



# 委員会報告

## 付託議案を審査しました



ジオパークを楽しく説明する地域おこし協力隊



指定管理者による管理となる湖畔のみせ「旬彩」



地域で祝う敬老会

総務常任委員会、産業建設常任委員会、文教民生常任委員会はそれぞれの常任委員会に付託された議案の審査を行いました。主な質疑を掲載します。

# ジオパーク推進活動 に地域おこし協力隊

総務常任委員会

2月定例議会において、本委員会には、栗原市まちづくり基金条例や、給与改定などに伴う人件費の補正などが盛り込まれた一般会計補正予算など10議案が付託されました。審査の結果、全議案を原案のとおり承認または可決すべきものと決定しました。

**市民協働推進費（地域おこし協力隊事業）**

**Q** 平成27年度の地域おこし協力隊で活動している人数は。

**A** 全国的には、地域おこし協力隊が地域に住所を移し、結婚しているという例も報告されているようだが、栗原ではどうなっているか。

**Q** 地域おこし協力隊には、ジオパーク推進の活動をしていただいている、3名のうち男性1名、女子2名でいずれも独身である。住所は、現在、栗原市に移している。

**個人番号通知カード配布状況は**

**Q** マイナンバーカードの発行状況は、どのようになっているか。

**A** 個人番号通知カードの交付状況は2月

15日現在で、交付対象数は世帯で2万5241通、交付済数が2万4618通であり、個人番号カードの申請数は2月15日現在で、3350通、交付済数が605通で、市の保管数が1670通である。

**Q** 鳥獣被害対策実施隊の設置状況は

**A** 鳥獣被害対策実施隊は全体で何人になるか。また、隊長等の人数は何人か。近隣自治体の設置状況はどうなっているか。

**Q** 隊員は90人を見込んでいます。隊長が1名、副隊長が1人、地区隊長が10人となる。また近隣では登米市で設置され、県内では11の自治体で隊が設置されている。なお、大崎市では平成28年度設置予定と伺っている。

# 湖畔のみせ「旬彩」 指定管理者を決定

産業建設常任委員会

2月定例議会において、本委員会には、湖畔のみせ「旬彩」の指定管理者の指定に係る議案のほか、事業実績の精査などに伴う各種会計補正予算など10議案が付託されました。審査の結果、全議案を原案のとおり可決すべきものと決定しました。

**放射性物質吸収抑制対策事業**

**Q** 塩化カリ散布に関する調査結果はどうなっているか。

**A** 平成26年の調査結果は回収率85%で、うち85%の方が散布しており、その半分の方が1、2袋残っているとの回答であった。

**Q** 塩化カリ散布に係る費用負担を東京電力に請求すべきではないか。

**A** 塩化カリ散布経費などを補償するよう要請している。今後も引き続き要請していく。

**湖畔のみせ旬彩**

**Q** 平成28年度より指定管理者による管理施設とする提案であるが、管理の範囲はどこまでか。

**A** 外トイレを除く施設の管理としている。なお、トイレは市で管理を行い、清掃は週3回程度行う予定である。

**Q** トイレは公衆トイレとして夜も使用できるのか。

**A** 現在は冬季閉鎖中であるが、営業日に関係なく、トイレは4月から11月まではいつでも使用できるようにする。

**水道事業会計補正予算**

**Q** 放射能汚染汚泥処理業務委託料1800万円減額。放射能汚染が減少したためか。

**A** この委託料は、掛かり増し経費分の計上であり、処分単価などの減少に伴い不用額が見込まれることから減額を行う。

# 敬老祝い金 節目で支給

文教民生常任委員会

2月定例議会において、本委員会には、「敬老祝金等支給条例」の一部改正などの条例8件、一般会計・特別会計などの予算6件、指定管理者の指定3件、計17議案が付託されました。審査の結果、「敬老祝金等支給条例」は賛成・反対同数のため、委員長決裁により否決することになりました。（関連記事8ページ）

**敬老祝金等支給条例の一部を改正する条例について**

**Q** 改正により対象者が支給される敬老祝金が減額となるが、改正しようとした基本的な考え方はどのようなものか。

**A** 条例の改正により、対象者への敬老祝金は88歳、99歳、100歳のは88歳、99歳、100歳の節目での支給とし、各地区で行う敬老会事業の交付金を1人当たり500円増額することとした。長寿を地域の皆さんでお祝いすることにより、敬老意識の啓発とコミュニティ活動の活発化を目的とする。

**病院事業会計補正予算について**

**Q** 医学生修学一時金貸付事業の貸付状況はどうなっているか。

**A** 現在まで16人に貸付を行っている。内訳は、在学中が8人、医師になった方が8人、2人が栗原中央病院で医師として勤務している。

**A** 国の平成27年度補助金であり、市内の対象者は約1万人を見込んでいます。支給額は1人当たり3万円とし、平成28年4月中旬に対象者へ通知・申請を受付し、5月上旬から支給を予定している。

**一般会計補正予算について**

**Q** 年金生活者等支援臨時福祉給付金の事業概要はどうか。



討 論

本会議で議題となった次の6議案について、賛成または反対の立場で、それぞれが意見を表明しました。

**反対** 沼倉 猛議員  
この議案は議員の期末手当を0.05月(約2万円)引き上げる内容である。議員は一昨年の政務活動費の支給条例で一人あたり年間30万円使える状況にあり実質的に議員報酬引き上げに繋がっており、これ以上の引き上げは認められない。よってこの議案は反対する。

**賛成** 石川 正運議員  
国の人事院勧告に伴い、期末手当の支給率を一般職員に準じることとした。

**賛成** 菅原 勇喜議員  
総額74億円のスポーツパーク計画基本構想最終案策定を新年度に先送りしている。敬老祝金等敬老事業費全体で431万円削減や、

え賛成する。  
**議案第1号 平成27年度栗原市一般会計補正予算**

**反対** 沼倉 猛議員

この補正予算には市長・議員など特別職の期末手当の引き上げが計上されている。現在の市長の給料は県内35自治体中6番目に高く議員報酬も5番目に高い。一方、市民所得は27番目と低い位置にある。

**賛成** 菅原 久男議員  
過日、本会議において議員発議による議員報酬等の条例改正および常勤特別職の給与等の条例、教育長の給与等の条例の改正がいずれも可決している。

**賛成** 菅原 勇喜議員  
この補正予算には、改正条例が反映されており、条例、予算一致の原則から賛成する。

**反対** 菅原 勇喜議員  
総額74億円のスポーツパーク計画基本構想最終案策定を新年度に先送りしている。敬老祝金等敬老事業費全体で431万円削減や、

民間委託先の劣悪な労働条件を放置している。一方、市長、議員等特別職の期末手当0.05月分引上げが計上されており反対する。

**賛成** 佐々木 脩議員

歳入では過疎債や合併特例債などの活用により実質的負担の軽減を図り、歳出では、保育所や幼稚園の2人目以降を無料化、医療費も18歳までを無料とするなど子育て支援を強化し、各種基金の積立など将来に備える配慮もあることから、この予算案に賛成する。

**反対** 小野 久一議員  
市長、副市長、教育長の給料や期末手当は市民の暮らしや所得の状況などを十分に考慮して決められるべきである。平成24年度県民

**反対** 菅原 勇喜議員  
この補正予算には、改正条例が反映されており、条例、予算一致の原則から賛成する。

**反対** 小野 久一議員  
市長、副市長、教育長の給料や期末手当は市民の暮らしや所得の状況などを十分に考慮して決められるべきである。平成24年度県民

所得統計によれば市民所得は27番目の199万7000円、市長給料は6番目の96万9000円だ。引き上げの要素はどこにもない。

**賛成** 佐々木 脩議員

この条例は人事院勧告に準じて市長などの常勤特別職の期末手当を0.05月分、年間平均で4万3183円引き上げるもので、議員の分は年額で2万50円の引き上げが決定されている。こっちはいいけど、そっちはダメという理由はなく、この条例改正に賛成する。

**反対** 佐藤 悟議員  
敬老行事補助金の1人25000円は適正である。しかし、敬老祝い金の一部廃止および記念品の廃止は、多数の対象者が未支給となり、敬老事業費全体で431万7000円の大規模削減となる。老人会・自治会などへの説明が不十分で唐突であり、反対する。

**賛成** 菅原 勇喜議員  
この補正予算には、改正条例が反映されており、条例、予算一致の原則から賛成する。

**反対** 佐藤 悟議員  
敬老行事補助金の1人25000円は適正である。しかし、敬老祝い金の一部廃止および記念品の廃止は、多数の対象者が未支給となり、敬老事業費全体で431万7000円の大規模削減となる。老人会・自治会などへの説明が不十分で唐突であり、反対する。

2月定例議会での審議結果 (意見が分かれた議案について掲載しました)

議案氏名	議決結果	採 決 結 果																									
		沼倉 猛	佐藤 悟	佐々木 脩	石川 正運	菅原 勇喜	高橋 勝	佐藤 久義	菅原 久男	阿部 貞光	鹿野 芳幸	瀬戸 健治郎	三塚 東	佐藤 千昭	三浦 善浩	五十嵐 勇	佐々木 嘉郎	小岩 孝一	高橋 勝男	佐藤 文男	高橋 義雄	相馬 勝義	佐々木 脩	小野 久一	佐藤 悟	濁沼 一孝	
発議第1号	可決	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	一
議案第1号	可決	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	一
議案第13号	可決	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	一
議案第31号	可決	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	一
議案第32号	可決	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	一
議案第37号	可決	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	一

※ 「賛」⇒賛成した議員、「反」⇒賛成しなかった議員、「◎」⇒欠席、「一」⇒議長のため表決に加わらない

していた敬老祝い金を廃止し、90歳の方に支給していた記念品も廃止して敬老事業費全体で431万円削減することは、条例の目的から大きな後退だ。

目の88歳、99歳、100歳とし、敬老事業費1人2000円の補助金を2500円に引き上げて自治会に一括交付される。

改正により、自治会の運営と敬老行事への参加者が増え、地域みんなでお祝い出来るので賛成する。